

# 自己評価結果表【タイプA】（児童養護施設）

## 共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

### 1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	自己評価結果																					
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="130 235 387 667">①</td> <td data-bbox="387 235 1321 291">1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。</td> <td data-bbox="1321 235 1453 291">A</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="387 291 1321 362">□理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。</td> <td data-bbox="1321 291 1453 362">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="387 362 1321 434">□理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。</td> <td data-bbox="1321 362 1453 434">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="387 434 1321 506">□基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。</td> <td data-bbox="1321 434 1453 506">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="387 506 1321 577">□理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。</td> <td data-bbox="1321 506 1453 577">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="387 577 1321 649">□理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。</td> <td data-bbox="1321 577 1453 649">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="387 649 1321 667">□理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。</td> <td data-bbox="1321 649 1453 667">○</td> </tr> </table>	①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	A		□理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。	○		□理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○		□基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○		□理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	○		□理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。	○		□理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	○	
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	A																				
	□理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。	○																				
	□理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○																				
	□基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○																				
	□理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	○																				
	□理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。	○																				
	□理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	○																				
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>パンフレットやホームページへの記載、年度当初に職員に対して周知している。</p> <p>施設としての理念や方針はあるが、現場での支援の規範となるような実用的な理念については不十分である。ニーズがあり、現場の意見を募って作成したが、活かされていない。</p> <p>新たな理念が作成されたが、周知が不十分である。</p> <p>保護者全員が周知しているかは不明。</p> <p>理念、基本方針は、会議で説明され、パンフレットにも明記されている。</p> <p>年度初めの会議にて周知</p>																						

### 2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に対応している。	自己評価結果															
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="130 1008 387 1344">①</td> <td data-bbox="387 1008 1321 1086">2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。</td> <td data-bbox="1321 1008 1453 1086">A</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="387 1086 1321 1142">□社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。</td> <td data-bbox="1321 1086 1453 1142">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="387 1142 1321 1198">□地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。</td> <td data-bbox="1321 1142 1453 1198">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="387 1198 1321 1276">□子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。</td> <td data-bbox="1321 1198 1453 1276">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="387 1276 1321 1344">□定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。</td> <td data-bbox="1321 1276 1453 1344">○</td> </tr> </table>	①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	A		□社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○		□地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○		□子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	○		□定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	○	
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	A														
	□社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○														
	□地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○														
	□子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	○														
	□定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	○														
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>社会状況や、地域のニーズ（学童保育や一時保護）の把握に努めている。</p> <p>施設長が中心となり社会福祉事業全体の動向分析を行えている。</p> <p>施設長から会議で状況報告がされている。</p> <p>福祉事業、地域における状況を鑑み、一時保護所の開設、学童保育の実施など、新規事業等の開拓を検討し進めている。</p> <p>変化に対応できるように分析している</p> <p>学童保育を通し、地域への支援も考えている。学校を通し、アンケートをとった。</p>																
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="130 1545 387 1881">②</td> <td data-bbox="387 1545 1321 1624">3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。</td> <td data-bbox="1321 1545 1453 1624">A</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="387 1624 1321 1702">□経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。</td> <td data-bbox="1321 1624 1453 1702">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="387 1702 1321 1758">□経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。</td> <td data-bbox="1321 1702 1453 1758">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="387 1758 1321 1814">□経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。</td> <td data-bbox="1321 1758 1453 1814">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="387 1814 1321 1881">□経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。</td> <td data-bbox="1321 1814 1453 1881">○</td> </tr> </table>	②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	A		□経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○		□経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	○		□経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○		□経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	○	
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	A														
	□経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○														
	□経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	○														
	□経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○														
	□経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	○														
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>運営管理者の施設長が中心となり、経営状況の改善に努めている。</p> <p>会議の際、施設の現状や課題の周知が行われてはいるが、職員全体による課題解決の意識は高くない。具体的な取り組みについても十分とは言えない。</p> <p>施設長から会議で状況報告がされている。</p> <p>経営課題については取り組みがされている。</p> <p>広報いだに求人情報を載せるなど工夫している</p>																

### 3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果
①	<p>4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。</p>	<p>A</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>運営管理者の施設長が中心となり、中・長期ビジョンが示されているが、全体としての取り組み評価は不十分な面がある。具体的な成果や評価については周知が不十分である。ビジョンがあり明確にされている。計画についての評価は都度行っていない。</p>		
②	<p>5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。</p> <p><input type="checkbox"/>単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/>単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。</p> <p><input type="checkbox"/>単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p>	<p>A</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>年度末から次年度にかけて、予算や計画の見直し、周知は行われている。予算書は職員の希望も聞き、細かな科目をもうけ作成している。将来必要な資金を考え積立金も出来るようにはしている。</p>		
(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	<p>6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。</p> <p><input type="checkbox"/>評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。</p>	<p>A</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>運営管理者の施設長が中心となり作成している。職員の参画面では、意識、機会ともに十分とは言えない。評価、見直しがされている。会議にて職員の意見を聞いている</p>		
②	<p>7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画の主な内容を子ども会や保護者会等で説明している。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。</p>	<p>C</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>入所児童に必要な情報は、その都度説明できているが、保護者に向けての機会はほとんどなく、その必要性に疑問を感じる所もある。いずれも不十分であるが、どこまで周知すべきかは要検討。子どもへは主に各ユニットでの対応。保護者へはどのような対応が十分なのかわからない。子どもにはユニットごとで周知。保護者への周知には欠ける。子どもや保護者への周知については不十分である。保護者や子どもが周知しているか分からない</p>		

#### 4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	A
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>全体会議やリーダー会、各ユニット会など支援について確認、話し合いを持つことができている。</p> <p>ユニット単位での取り組みとなっており、PDCAに基づいた支援については差がある。施設全体で組織的に取り組んでいるとは言えない。</p> <p>各ユニット対応になるが内容には差が生じると思う。</p> <p>ケース会議、施設長による面談等で行われている。</p> <p>ユニットミーティング、ケース会議で養育支援の見直しを行っているほか、年に1回自己評価を行っている。</p> <p>第三者評価の実施</p> <p>ケース会議、ユニット会議、職員会などは定期的に行われている。必要に応じて外部関係機関とも検討会議をしている。</p>		
②	9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	A
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	○
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>全体会議やリーダー会、各ユニット会など支援について確認、話し合いを持つことができている。</p> <p>課題の明確化は図れているが、具体的な改善策やその実施、見直しについては十分とは言えない。</p> <p>ケース会議にて実施。</p> <p>会議にて共有化</p> <p>ケース会議、ユニット会議、職員会などは定期的に行われている。必要に応じ、外部関係機関とも検討会議をしている。</p>		

## II 施設の運営管理

### 1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		自己評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	B
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>日常の支援や会議の中では、リーダーシップは発揮されている。広報誌などの掲載はない。</p> <p>文書化や周知については不十分である。</p> <p>会議にて周知</p>		

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	A
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

社会や他施設のできごとなどの情報提供などを絡め、職員に周知している。

労働や雇用についての法令などは遵守できていると思われるが、取引業者などに対する法令などについて、または施設長がどこまで把握しているのか不明である。

職員採用の際に説明がある。

専門の方に聞いたり調べたりしている

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	B
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

【判断した理由・特記事項等】

職員会などで、子どもへの支援について、意見を示し行動してくれている。

養育や支援の質については統括主任が中心になっており、施設としての方針や考え方など施設長と一致していないこともある。職員の意見を反映するための面談が今年度は実施されていない。各ユニットリーダーも含めたシステムの構築が必要ではないか。養育・支援の向上に向けてリモート研修などを更に取り入れられると良い。

経営に重きを置いている印象を受ける。 養育・支援への考えを述べることはあっても、子ども達と向き合う機会は少ないため指導力は十分に発揮されていない。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	A
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○

【判断した理由・特記事項等】

職員会などで、子どもへの支援について、意見を示し行動してくれている。

養育や支援の質については統括主任が中心になっており、施設としての方針や考え方など施設長と一致していないこともある。職員の意見を反映するための面談が今年度は実施されていない。各ユニットリーダーも含めたシステムの構築が必要ではないか。養育・支援の向上に向けてリモート研修などを更に取り入れられると良い。

経営に重きを置いている印象を受ける。 養育・支援への考えを述べることはあっても、子ども達と向き合う機会は少ないため指導力は十分に発揮されていない。

## 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	A
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>新規事業などの人材確保などについて、職員への周知が不十分で理解できていない面がある。</p> <p>人員確保は出来ているが、施設や法人としての取り組みとしては十分だと言えない。これからの学生にPRしていくためにはSNSなどを活用できると良い。HPはリニューアル予定である。育成については現場任せな面があり、施設としての方針が周知されていない。</p> <p>施設長中心に人材の確保に努めている。</p> <p>メンター制度により新任職員の定着に向けた取り組みが行われている。</p> <p>実習中に人材の把握をしている</p> <p>加算職員の確保には積極に取り組んでいる。現場の職員への人材育成についての具体的な方針がない。</p>		
②	15 総合的な人事管理が行われている。	C
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。	
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>各職員の意向を聞いてもらえる機会はあるが、具体的な人事管理のしくみは分かりにくく、職員には理解できていない面がある。</p> <p>人事基準が曖昧である。または周知されていない。職務に対して評価される仕組みがない。</p> <p>採用については不透明な部分も多く、職員全員が周知出来ないように思う。採用後は施設長の面接等により、職員の意向・意見等を話す場がある。</p> <p>人事管理やその判断は主に施設長、主任職員が行っている。</p> <p>定められているものも、職員周知までにはいたっていない。</p>		



(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	A
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

希望休やその他、できる限りの要望を取り入れようとしてくれ、必要に応じて、勤務体制など、柔軟に変更することができている。  
 新人職員を中心とした経験の浅い職員のメンタル面をフォローすることを目的とした面談の必要性を感じ提案、実施したが、施設全体の取り組みとはならず、HSPタイプの職員へのフォロー体制も組織的ではない。子育てしながら働く職員への配慮はしっかりされており、離職率の低さに繋がっている。  
 勤務を作成するにあたり、希望休や職員の組み合わせ、バランスなど毎月状況を把握し考慮している。  
 職員の心身の健康と安全の確保に努めているが、職務の内容的に限界はある。  
 メンター制度により新任職員の定着に向けた取り組みが行われている。  
 勤務作成に職員の希望がとても反映されている  
 職員一人一人の就業状況の配慮とまではいかないが、希望には応じてもらっている。全体への周知、具体的な計画とまではいたっていない。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	A
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	○
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

定期面接を実施している。  
 今年度は施設長面談は実施されず、例年は実施されている。  
 施設長が行っている定期面談が滞っている。一人ひとり目標を定めても、それを評価したり確認するなどの体制は不十分である。  
 施設長による個別面談が行われている。  
 職員は、年度当初に職務遂行における目標を立て、それを踏まえた施設長との面談を行っている。  
 業務目標の作成をしている  
 施設としての個別職員へ対しての職員像の明確化はされていない。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	B
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

職員の専門性の向上は必要としているが、具体的な職員像は明示されていない。  
 今年度はコロナの影響あり施設内外の研修は必要最小限の実施に留まる。新人職員への研修は実施された。また施設外(リモート含む)研修には新人職員が優先的に参加できるよう配慮されていた。  
 研修はリモートでおこなわれた。  
 リモートでの研修が中心ではあったが、研修は実施された。  
 施設の基本方針、理念から「どのような養育が期待されているか」は読み取ることができるが、「期待する職員像」としては明記されていない。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	A
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	○

【判断した理由・特記事項等】

研修機会の場や、希望はできる限り取り入れてくれている。

各ユニットごとに適切なOJTが実施されており、必要に応じて適任者によるスーパーバイズも受けられている。職員の知識や技術水準の把握については不十分である。

研修の場は確保されている。

新任職員を対象としたメンター制度により個別的な対応が行われているほか、外部研修も行われている。

いろいろな研修会に参加出来ている

希望をきき職員に応じた研修への参加を実施する機会を設けている。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	B
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

実習生指導に対する配慮することなどは確認しているが、研修は行っていない。

学校とは連携できており、丁寧な指導を行っているが、専門的な指導のプログラム化については不十分である。

基本姿勢は明文化され、マニュアルもあるが、担当職員しか把握していない。周知が不十分。

指導者に対する研修は行っていない。

実習生対応について、職員向けのマニュアルが整備されているが、研修を行うまでには至っていない。

実習担当の職員を配置

専門職種の特性に配慮したプログラムはないが、実習生の希望があれば専門職種の職員との時間を作ったりの配慮はしている。

### 3 運営の透明性の確保

(1)	運営の透明性を確保するための取組が行われている。	自己 評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	B
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○

【判断した理由・特記事項等】

第三者評価を定期的実施している。パンフレット以外の地域に向けた広報誌などはない。

地域へ向けた広報誌は特に配布していないが、施設見学者らには随時説明している。

広報誌はないが、ホームページにて公開している。

情報公開は施設のホームページで行われている。

ホームページの作成

地域に向けての印刷物、広報誌等の配布は必要に応じて行うが、理念や基本方針までの提供はしていない。

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	A
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○

【判断した理由・特記事項等】  
 定期的に監査を受け、指摘事項の改善を行っている。  
 定期的な内部監査は実施されていない。  
 監査や第三者評価を受けている

#### 4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己 評価結果
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	B
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの個別的情况に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○
	(児童養護施設) <input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】  
 災害時の協定はあるが、地域交流については、文書化されていない。地域交流ホールとして、場所提供も始めている。  
 地域に開かれた施設の雰囲気はあるが文書化については不十分。  
 ボランティアの受け入れ、地域の行事等へ参加している。  
 地域との関わり方について、基本的な考えは文書化されていないが、子どもの地域行事への積極的な参加、社会資源の利用ができるように、という姿勢は職員内で一貫している。  
 地域行事への参加やボランティアの受け入れをしている  
 ユニット化されるなか、友人が遊びに来ることへの難しさはある。交流室の、地域への開放はされている。

②	24 ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	C
	<input type="checkbox"/> ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> ボランティア受け入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】  
 明確なボランティア受け入れの明文化がなく、その都度判断する対応になっている。  
 充分ではない。  
 受け入れのマニュアルは見直しが必要である。  
 事前説明等はしているが、研修はされていない。  
 ボランティアに関しての研修等は行っていない。



(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	B
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	

【判断した理由・特記事項等】

要対協への参加や管轄児相との連絡会を行っている。関係団体のリスト化はできていない。「まいさぼ」「要対協」などの連絡会には必要に応じて統括主任が参加している。関係機関とは必要に応じて情報の共有等を行っている。ケース会議などで共有化

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	A
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	○

【判断した理由・特記事項等】

地区のまちづくり委員会などには参加。学童クラブ開設に向けて小学校でアンケートを配布し、ニーズ把握に努めた。その他、子育て相談的ニーズについては把握できていない。要対協へ参加。学童クラブ開設予定。町内に協力している

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	B
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

地域交流ホールとしての場所の提供や、学童保育所の運営を計画している。学童クラブ、一時保護所開設に向けて準備を進めてきた。被災時に地域のお年寄りらが使用できるよう多目的トイレを設置した。学童クラブ、一時保護所の開設。地域のコミュニティの場として、場所の提供。地域の福祉ニーズを把握し、そのために一時保護所の開設、学童保育など、新規事業の開拓を行っている。地域交流ホールの開放  
必要に応じて行っている。

Ⅲ 適切な養育・支援の実施  
1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		自己 評価結果
① 28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	B
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○
<p>【判断した理由・特記事項等】            年度当初の職員会などで周知している。            行われているが、職員の理解や実践については十分だとは言えない。            理念や基本方針を職員が理解し支援に反映されているかは不十分。今年度CAPは実施されていない。            取り組みはされているが、理解度や実践は個々によって差が生じている。            会議の際に共通の理解をもつ取り組みをしている。</p>		
② 29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	B
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	○
<p>【判断した理由・特記事項等】            個人情報の取り扱いなど、プライバシー保護に配慮する対応はその都度確認している。            不特定多数の人が見るような場への写真の掲載については保護者への確認をしている。その他、随時、全体への周知を図っている。            可能な保護者へは、入所時に個人情報の取扱い等について説明。            職員向けにプライバシー保護についての規定・マニュアルが整備されているほか、子どもがスマートフォンを持つ際にも、プライバシーの保護について子どもに説明している。            個室となり配慮されている            設計の段階では、快適な環境を提供できるよう配慮した。</p>		
(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
① 30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	A
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の子どもや保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	○
<p>【判断した理由・特記事項等】            事前の施設見学など、できる限り丁寧な説明に努めている。            パンフレットの作成、配布。入所前の施設見学の実施。            事前の施設見学の実施            入所理由により保護者への説明が行われないこともある。</p>		

②	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	B
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、子どもや保護者等の自己決定を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、子どもや保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な子どもや保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	

【判断した理由・特記事項等】

口頭で説明できる子どもや保護者には、丁寧な説明をしているが、紙面で残していないことも多い。充分ではない。  
意思疎通が困難な子どもや保護者への配慮について、ルール化はされていない。  
子ども、保護者に対して、児童相談所を通して説明がなされている。  
保護者にも分かりやすく説明している  
必要に応じてやっている。

③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	B
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	

【判断した理由・特記事項等】

引継ぎに必要な準備などは個々のケースで行っているが、文書や退所後の担当説明などは不十分である。  
対応した職員により差がある。  
文書を定めたり、退所後文書を渡すことはしていない。  
退所児、保護者へその後の相談法等の説明は行うが文書化はされていない。  
児童の退所後は、在園時の担当者が主となり相談を受け付けている。  
文章については分からないが、アフターケアは実施している  
アフターフォローとしての子どもへの内容記載した文書はないが、口頭としては伝えている。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

自己  
評価結果

①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	B
	<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

個別面談などで、意見を随時聴くことはできているが、子ども参画の検討会は行われていない。

食についてのアンケートを定期的にとっている。個別面接は定期的に行っているが、満足を把握するためのものではない。むしろ不満を聞き取るという面が強い。子ども達の要望によって話し合いなどには職員も参加することがある。

調査はしていますが満足につながっているとは言えない。  
取り組みは行っているが、子どもが満足しているかは不明。  
定期的に面談を行っているほか、子どもの利用できる意見箱を設置している。  
必要に応じて面接など時間を取っている  
子どもへの満足に関する調査というと難しいが、職員に相談面接の機会は行われている。

(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	B
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。	
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、子どもや保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た子どもや保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】  
 意見ポストや、個別面談などで、子どもの意見を聞く体制はできている。  
 苦情については子ども達への配慮はされているが、保護者に対しては十分ではない。  
 意見ポストはあるが以前より活用されていない。  
 担当者は決まっており取る組はされているが、苦情記入カードの配布やアンケートは行っていない。  
 苦情受付、解決の内容は施設のHPで公開されている。  
 意見ポストを設置している  
 意見箱を設置し、どの子どもに対しても自由に苦情、意見が言える環境は整えてある。苦情内容についても、内容に応じ担当者、職員会等での対応で解決をはかっている。

②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	A
	<input type="checkbox"/> 子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【判断した理由・特記事項等】  
 生活棟だけでなく、個別に相談できる場所がある。  
 子どもに対しては問題ないが保護者に対しては十分ではない。  
 保護者に文書の配布は行っていない。  
 子どもが相談しやすい、意見を述べやすい環境に配慮しているが、文書化して配布するまでは至っていない。  
 職員へ気軽に相談出来る体制

③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	B
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】  
 意見箱や個別面談で上がった内容については、職員会などで検討し対応している。  
 意見については内容や必要に応じて職員会などで周知、協議している。  
 各ユニットでの対応になる。マニュアルはない。  
 マニュアルはない。  
 子どもが利用できる意見箱を設置している。意見箱の内容は必要に応じて職員会で共有、検討されている。  
 意見ポストなどの設置

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		自己 評価結果
①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	B
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>事故発生時などは、職員会など全体で改善を図っているが、委員会としては整備されていない。          暴力トラブルが起きた際の対応などの周知が不十分である。性的トラブルについては対応などまとめられている。          リスクマネジメントに関する委員会は設置されていない。ユニットごと安全確保について確認は行っている。          特に性的問題についてリスクマネジメント、事例収集が行われている。          研修会を実施している          リスクマネジメントに関する委員会はない。定期的ではないが、必要に応じ安全確保の状況把握はおこなっている。</p>		
②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	A
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直ししている。	○
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	○
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>職員会時に、必要に応じて感染症対策委員会を行い、対応を共有しているが、コロナに関しては、不十分。          対策の徹底はされているが、子ども達の手洗いの徹底については不十分である。          定期的の確認は行われているが、勉強会までは開催されていない。          建て替えにより生活ユニットと別に医務室が整備され、感染症発生時は隔離して対応が可能となっている。          勤務職員の固定による対応          今回のコロナのような新しい事例だったりすると今ある感染症マニュアルでは対応しきれないこともある。分からないことも多く、その都度周知徹底を行ったが、マニュアル変更や勉強会に対してはその都度適切といった対応はしきれない。</p>		
③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	A
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>定期的な避難訓練の実施や、地域住民と災害時の協力体制が協議されている。          避難訓練が実施されており非常持ち出し袋、非常食も整備している。          非常食の備蓄</p>		



## 2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果
①	<p>40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。</p> <p><input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。</p>	<p>C</p> <p>○</p> <p></p> <p></p>
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>実施方法を一を確認する仕組みは曖昧である。</p>		
②	<p>41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p> <p><input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。</p> <p><input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や子ども等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。</p>	<p>C</p> <p></p> <p>○</p> <p></p>
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>いずれも十分ではない。</p> <p>ケース会議にて実施</p>		
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
①	<p>42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。</p> <p><input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。</p> <p><input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員（種別によっては施設以外の関係者も）が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。</p>	<p>A</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>年間のケース検討日計画が組まれており、個々のケースについて、自立支援の策定がされている。</p> <p>担当職員とユニットリーダー、児相職員による作成となっており（学校、心理など必要箇所の意見をもらってはいる）、様々な職種によるとまでは言えない。</p> <p>心理職員、学校関係者等の意見も取り入れている。</p> <p>ケース会議にて意見交換</p> <p>支援困難ケースへの対応へは、より多くの時間を設け話し合っている。</p>		

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	A
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【判断した理由・特記事項等】

関係機関を含め、自立支援の見直しが行われている。

年に一回はケース会議にて全体周知できているが、年に複数回の作成の場合はユニット内での協議、周知に留まっている。作成時期を把握しておらず過ぎてしまうこともある。

会議にて行っている。

ケース会議にて実施

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	A
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

手書きからパソコンを利用しての記録管理に移行しており、不慣れな部分も多々あり、これから課題が出てくるのが予想される。

日々の記録をパソコンのネットワークシステムで管理している。

子どもの生活状況の記録が、紙媒体からPC上で閲覧できるものになったため、施設内で情報の共有が容易となった。

パソコンにて状況表の確認

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	A
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。	○

【判断した理由・特記事項等】

個人情報の管理保護には、職員間で徹底している。

個人情報の取り扱いについて、子どもや保護者への説明は十分ではない。

個人情報保護の規定はない。

内容評価基準（25項目）A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	自己評価結果
<p>① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/>権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</p> <p><input type="checkbox"/>権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの思想・信教の自由について、最大限に配慮し保障している。</p>	<p>A</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】                      権利擁護については周知されている。                      不十分である。                      マニュアルはない。                      性教育を通し権利侵害に関する取り組みとなっている。</p>	
(2) 権利について理解を促す取組	
<p>① A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>権利についての理解を深めるよう、年齢に配慮した説明を工夫し、日常生活を通して支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの年齢や状態に応じて、権利についての理解を深めるよう、権利ノートやそれに代わる資料等を使用して、生活の中で保障されるさまざまな権利についてわかりやすく説明している。</p> <p><input type="checkbox"/>職員間で子どもの権利に関する学習機会を持っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子ども一人ひとりがかけがえない大切な存在であり、自分を傷つけたりおとしめたりしてはならないこと、また、他人を傷つけたり脅かしたりしてはならないことが、日々の養育の中で伝わっている。</p> <p><input type="checkbox"/>年下の子どもや障がいのある子どもなど、弱い立場にある子どもに対して、思いやりの心をもって接するように支援している。</p>	<p>B</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】                      子どもの権利に関する学習会は実施していない。                      学習会等を行っていない。                      GAPプログラムを実施している。                      セカンドステップの活用</p>	
(3) 生い立ちを振り返る取組	
<p>① A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの発達状況等に応じて、適切に事実を伝えようと努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>事実を伝える場合には、個別の事情に応じて慎重に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/>伝え方や内容などについて職員会議等で確認し、職員間で共有している。</p> <p><input type="checkbox"/>事実を伝えた後、子どもの変容などを十分把握するとともに、適切なフォローを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子ども一人ひとりに成長の記録(アルバム等)が用意され、空白が生じないように写真等の記録の収集・整理に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>成長の過程を必要に応じて職員と一緒に振り返り、子どもの生い立ちの整理に繋がっている。</p>	<p>A</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】                      個々に利用できるように、写真データを整理してきている。                      写真データは個別に管理、保管しており、定期的に写真注文をする仕組みはあるが、それらがアルバムなどで適切に保管できているか、振り返りに使っているのか等の把握は不十分である。                      伝え方等については職員会や児相とも協議している。担当を中心に写真、アルバムの整理に努めている。                      アルバム代や写真代は子どもの小遣いとは別に予算が組まれており、子どもの負担にならないようになっている。                      アルバムは個人差がある                      個々に利用できるように、写真データを整理してきている。</p>	

(4) 被措置児童等虐待の防止等

①	A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	B
	<input type="checkbox"/> 体罰や不適切なかかわり(暴力、人格的辱め、心理的虐待など)があった場合を想定して、施設長が職員・子ども双方にその原因や体罰等の内容・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがとられている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止について、会議等で具体的な例を示すなどして職員に徹底し、行われていないことを確認している。また、不適切なかかわりを発見した場合は、記録し、必ず施設長に報告することが明文化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識、具体的方法について学習する機会を設けており、不適切なかかわりの具体的な例を示して、子どもに周知し、子ども自らが訴えることができるようにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待が疑われる事案が生じたときに、施設内で検証し、第三者の意見を聞くなどの迅速かつ誠実な対応するための体制整備ができており、被措置児童等虐待の届出・通告があった場合には、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備・徹底されている。	
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について説明した資料を子ども等に配布、説明している。また、掲示物を掲示するなどして、子どもが自ら訴えることができるようにしている。	

【判断した理由・特記事項等】

実際に施設内で虐待行為が起きた場合に適切な対処がとれるかは不明で、子どもへの説明は不十分である。

不十分である。今年度はCAPを実施せず。

CAPを実施している。

CAPの取り入れ

(5) 子どもの意向や主体性への配慮

①	A5 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。	B
	<input type="checkbox"/> 快適な生活に向けての取組を職員と子どもが共に考え、自分たちで生活をつくっているという実感を持たせるとともに、施設の運営に反映させている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分たちの生活における問題や課題について主体的に検討する機会を日常的に確保している。	
	<input type="checkbox"/> 余暇の過ごし方について、子ども自身が自由に選択し、一人ひとりの趣味や興味に合った活動が行えるように支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの状況に応じて、金銭の管理や計画的な使い方などを学び、金銭感覚や経済観念が身につくよう支援している。	○

【判断した理由・特記事項等】

日常的にも、個別面談などでも意向確認はできているが、子どもが主体性を持てるような働きかけは不十分である。

個別の対応で出来ている子もいるが、全体的に取り組んでいるかといえばそうではない。

地域のスポーツ少年団に加入する子もあり、余暇を過ごしている。

お小遣いで買い物

(6) 支援の継続性とアフターケア

①	A6 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	A
	<input type="checkbox"/> 子どもの生活の連続性に関して、施設全体でその重要性を理解し、入所や退所に伴う不安を理解し受け止めるとともに、子どもの不安を軽減できるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 入所した時、温かく迎えることができるよう、受け入れの準備をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもがそれまでの生活で築いてきた人間関係などを、可能な限り持続できるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 家庭復帰や施設変更にあたり、子どもが継続して安定した生活を送ることができるよう、支援を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

次のステップに進むという形ではない場合は、継続、安定を図る支援が難しい所がある。

ユニット化されたことで受け入れについても工夫されるようになりつつある。入所初日の不安を少しでも軽減できるよう、事前に食の好みなどの情報を仕入れ、可能な範囲で対応した。しかし、全体での取り組みとまでは至っていない。

入所前に子どもの好きな食べ物等を聞き、入所当日に出すなどしている。

不安がないよう受け入れの準備をしている

②	A7 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	B
	<input type="checkbox"/> 子どものニーズを把握し、退所後の生活に向けてリービングケアの支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 退所後も施設に相談できる窓口(担当者)があり、支援をしていくことを伝えている。	○
	<input type="checkbox"/> 退所者の状況の把握に努め、記録が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 行政機関や福祉機関、あるいは民間団体等と連携を図りながらアフターケアを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 本人からの連絡だけでなく、就労先、アパート等の居住先からの連絡、警察等からのトラブル発生の連絡などにも対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 退所者が集まれる機会や、退所者と職員・入所している子どもとが交流する機会を設けている。	

【判断した理由・特記事項等】  
 十分とは言えないが、アフターケアにも取り組んでいる。  
 進学、家庭復帰先の福祉機関等とも連携を図っている。  
 児童の退所後は、在園時の担当者が主となり相談を受け付けている。  
 アフターケアの窓口がある

## A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		自己評価結果
①	A8 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	B
	<input type="checkbox"/> 職員はさまざまな知見や経験によって培われた感性に基づいて子どもを理解し、受容的・支持的な態度で寄り添い、子どもと共に課題に向き合っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの生育歴を知り、そのときどきで子どもの心に何が起こっていたのかを理解している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが表出する感情や言動のみを取り上げるのではなく、被虐待体験や分離体験などに伴う苦痛・いかり、見捨てられ感も含めて、子どもの心に何が起こっているのかを理解しようとしている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもに行動上の問題等があった場合、単にその行為を取り上げて叱責するのではなく、背景にある心理的課題の把握に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもたちに職員への信頼が芽生えていることが、利用者アンケートを通じて感じられる。	

【判断した理由・特記事項等】  
 担当の主観で偏りのある支援にならないよう、チームや施設全体で共有しようとしている。  
 アンケートは実施されていない。  
 子どもの心情を理解するようにしている。

②	A9 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活をいとなむことを通してなされるよう養育・支援している。	A
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの基本的欲求を満たすよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 基本的欲求の充足において、子どもと職員との関係性を重視している。	○
	<input type="checkbox"/> 生活の決まりは、秩序ある生活の範囲内で子どもの意思を尊重した柔軟なものとなっている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもにとって身近な職員が一定の裁量権を有し、個々の子どもの状況に応じて柔軟に対応できる体制となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 基本的な信頼関係を構築するために職員と子どもが個別的に触れ合う時間を確保している。	○
	<input type="checkbox"/> 夜目覚めるとき大人の存在が感じられるなど安心感に配慮している。	○

【判断した理由・特記事項等】  
 年齢や状況に応じて、できる限りの柔軟な対応をしている。  
 外食や買い物等で個別の時間を作っている。  
 自由な買い物や外食が出来る  
 子どもにとって気配のある場所での支援をこころがけている。



③	A10 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	A
	<input type="checkbox"/> 子どもがやらなければならないことや当然できることについては、子ども自身が行うように見守ったり、働きかけたりしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は必要以上の指示や制止をしていない。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを見守りながら状況を的確に把握し、賞賛、励まし、感謝、指示、注意等の声かけを適切に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> つまずきや失敗の体験を大切に、主体的に問題を解決していくよう支援し、必要に応じてフォローしている。	○
	<input type="checkbox"/> 朝・夕の忙しい時間帯にも、職員が子どもを十分に掌握、援助できるように、職員の配置に配慮している。	○

【判断した理由・特記事項等】  
職員配置の不十分さはあるが、それぞれ誠実に対応している。  
職員配置には配慮している。  
その子どもに応じてフォローや支援をしている  
必要な職員の確保については、できる限りしている。

④	A11 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	A
	<input type="checkbox"/> 施設内での養育が、年齢や発達の状況、課題等に応じたプログラムの下、実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 日常生活の中で、子どもたちの学びや遊びに関するニーズを把握し、可能な限りニーズに応えている。	○
	<input type="checkbox"/> 幼児から高校生まで、年齢段階に応じた図書などの文化財、玩具・遊具が用意、利用されている。	○
	<input type="checkbox"/> 学校や地域にある子どもたちの学びや遊びに関する情報を把握し、必要な情報交換ができています。	○
	<input type="checkbox"/> 子どものニーズに応えられない場合、子どもがきちんと納得できる説明がされている。	○
	<input type="checkbox"/> 幼稚園等に通わせている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの学びや遊びを保障するための、資源(専門機関やボランティア等)が十分に活用されている。	○

【判断した理由・特記事項等】  
職員配置的に対応が不十分な面はあるが、基本的な保障はできている。  
子どものニーズを確認しながら園庭の整備を進めていく予定である。  
学習ボランティアを活用している。  
塾利用や学習ボランティアの受け入れをしている  
遊具については近隣に公園が多いため公園に行く機会をつくっている。玩具については、必要に応じ購入したりいただきもので対応している。個人のものについては、おこづかいでの購入もある。学習ボランティアや、地域でのスポーツ教室、ピアノ教室の利用はある。

⑤	A12 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	A
	<input type="checkbox"/> 子どもが社会生活をいとなむ上での必要な知識や技術を日常的に伝え、子どもがそれらを習得できるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもと職員が十分な話し合いのもとに「しなければならないこと」としてはならないことを理解し、生活するうえでの規範等守るべき決まりや約束を一緒に考え作っていくようにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域社会への積極的参加を図る等、社会性を習得する機会を設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 発達の状況に応じ、身体の健康(清潔、病気、事故等)について自己管理できるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 発達の状況に応じて、電話の対応、ネットやSNSに関する知識などが身につくように支援している。	○

【判断した理由・特記事項等】  
年齢状況に応じて支援している。  
ネット、SNS等の支援プログラムを作成し支援している。  
ユニットでの生活の中で習得  
料理をする機会や洗濯等をする機会も職員と一緒にできる子どもへは支援している。

(2) 食生活

①	A13 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	A
	<input type="checkbox"/> 楽しい雰囲気ですぐに食事できるように、年齢や個人差に応じて食事時間に配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 食事時間が他の子どもと違う場合にも、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという食事の適温提供に配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 食事場所は明るく楽しい雰囲気、常に清潔が保たれたもとで、職員と子ども、そして子ども同士のコミュニケーションの場として機能するよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に残食の状況や子どもの嗜好を把握するための取組がなされ、それが献立に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 基礎的な調理技術を習得できるよう、食事やおやつをつくる機会を設けている。	○

【判断した理由・特記事項等】  
 摂取しなければならない栄養面と、子どもの嗜好とのギャップが埋められない所がある。  
 嗜好調査のアンケートを定期的実施。食事作りもやっている。  
 ユニット化により個人の嗜好が把握しやすくなった。誕生日には子どもの希望に沿った献立を立てている。  
 ユニット化がとても良く反映されている  
 すべての児童の嗜好をもとに献立への反映は難しいが、個別に対応しているところもある。

(3) 衣生活

①	A14 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	A
	<input type="checkbox"/> 常に衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを着用している。	○
	<input type="checkbox"/> 汚れた時にすぐに着替えることができ、またTPOに合わせた服装ができるよう、十分な衣類が確保されている。	○
	<input type="checkbox"/> 気候、生活場面、汚れなどに応じた選択、着替えや衣類の整理、保管などの衣習慣を習得させている。	○
	<input type="checkbox"/> 洗濯、アイロンかけ、補修等衣服の管理を子どもの見えるところで行うよう配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 衣服を通じて子どもが適切に自己表現をできるように支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 発達状況や好みに合わせて子ども自身が衣服を選択し購入できる機会を設けている。	○

【判断した理由・特記事項等】  
 一緒に買い物に行くなど、子どもの好みを反映することができている。  
 衣類の整理や保管についてのスキル習得に向けてのアプローチは十分ではない。  
 衣類の買い物へは子どもと一緒にやっている。  
 衣服は子どもの好みに合わせて購入している。洗濯は子どもの見える所で行っているが、アイロンかけや補修等は職員が行っている。  
 衣類費もしっかりあり、自分で選んで購入出来る  
 子どもと一緒に衣類の買い物は出来ており、好みのものを着ている。

(4) 住生活

①	A15 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	A
	<input type="checkbox"/> 子どもにとって居心地の良い安心安全な環境とは何かを考え、積極的に環境整備を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 小規模グループでの養育を行う環境づくりに配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 中学生以上は個室が望ましいが、相部屋であっても個人の空間を確保している。	○
	<input type="checkbox"/> 身につけるもの、日常的に使用するもの、日用品などは、個人所有としている。	○
	<input type="checkbox"/> 食堂やリビングなどの共有スペースは常にきれいにし、家庭的な雰囲気になるよう配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 設備や家具什器について、汚れたり壊れたりしていない。破損箇所については必要な修繕を迅速に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 発達や子どもの状況に応じて日常的な清掃や大掃除を行い、居室等の整理整頓、掃除等の習慣が身につくようにしている。	○

【判断した理由・特記事項等】  
 できる限りの個のスペースを確保し、日常的な環境整備に努めている。  
 居室等の整理整頓、掃除等の習慣の習得については十分ではない。  
 担当者、プログラムを作成し環境整備に努めている。  
 建て替えに小規模なユニットでの養育となった。  
 個室で自分の居場所が確保されている  
 適切な養育環境を行える環境づくりに配慮をしていますが、すべての子どもまでとはいかない所もある。

(5) 健康と安全

①	A16 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	A
	<input type="checkbox"/> 子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握し、定期的に子どもの健康管理に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 健康上特別な配慮を要する子どもについては、医療機関と連携して、日頃から注意深く観察し、対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう、説明している。服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬や薬歴のチェックを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で医療や健康に関して学習する機会を設け、知識を深める努力をしている。	○

【判断した理由・特記事項等】  
 必要に応じた医療機関への受診などができている。  
 感染症対策について調理に従事する職員が研修を受け、会議などでその内容の報告を受けることはあるが、施設全体で知識を深める努力となるとされていない。  
 毎月、内科検診、発育測定を実施。医療機関とも必要に応じ連携を図っている。  
 月に1回嘱託医による健康診断を行っている。  
 月1回の内科検診や必要に応じた受診がされている  
 0

(6) 性に関する教育

①	A17 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	A
	<input type="checkbox"/> 他者の性を尊重し、年齢相応で健全な他者とのつき合いができるよう配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に答えている。	○
	<input type="checkbox"/> 性についての正しい知識、関心が持てるよう、年齢、発達の状況に応じたカリキュラムを用意し、活用している。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性をめぐる諸課題への支援や、学習会などを職員や子どもに対して実施している。	○

【判断した理由・特記事項等】  
 十分とは言えないが、個別面談などを通して対応している。  
 性教育関連のマニュアルは作成しているがその活用については十分ではない。  
 カリキュラムはないが、性教育の場は設置している。  
 性教育の実施

(7) 行動上の問題及び問題状況への対応

①	A18 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	B
	<input type="checkbox"/> 施設が、行動上の問題があった子どもにとっての癒しの場になるよう配慮している。また、周囲の子どもの安全を図る配慮がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設の日々の生活が持続的に安定したものとなっていることは、子どもの行動上の問題の軽減に寄与している。また子どもの行動上の問題が起きた時も、その都度、問題の要因を十分に分析して、施設全体で立て直そうと努力している。	
	<input type="checkbox"/> 不適切な行動を問題とし、人格を否定しないことに配慮をしている。職員の研修等を行い、行動上の問題に対して適切な援助技術を習得できるようにしている。暴力を受けた職員へ無力感等への配慮も行っている。	○
	<input type="checkbox"/> くり返し児童相談所、専門医療機関、警察等と協議を重ね、事態改善の方策を見つけて直そうと努力している。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設の規範にのらず、他児への影響が大きい子どもに対しての、施設全体としての向き合い方が不十分な面がある。  
 問題が生じたユニットでの対応が主であり、施設全体での問題分析や立て直しに向けた取り組みは十分ではない。  
 職員向けのCAPも実施。  
 事故発生時、すみやかに対応している

②	A19 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	B
	<input type="checkbox"/> 問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方について定期的に点検を行っており、不備や十分でない点は改善を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 生活グループの構成には、子ども同士の関係性、年齢、障害などへの配慮の必要性等に配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 課題のある子ども、入所間もない子どもの場合は特別な配慮が必要となることから、児童相談所と連携して個別援助を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 大人(職員)相互の信頼関係が保たれ、子どもがそれを感じ取れるようになっている。子ども間での暴力やいじめが発覚した場合については、施設長が中心になり、全職員が一丸となって適切な対応ができるような体制になっている。	
	<input type="checkbox"/> 暴力やいじめに対する対応が施設だけでは困難と判断した場合には、児童相談所や他機関等の協力を得ながら対応している。	○

【判断した理由・特記事項等】

問題が起きた時に、担当中心となることが多く、負担感の軽減に不十分さがある。  
 ユニット化されたことで職員配置による負担の差が生じているが、職員数や勤務数にも限りがあるため、努力はしているが改善しているとまでは言えない。ユニット化されたことで、全職員が一丸となって取り組むことの難しさが生じている。  
 暴力への取り組みはしてきたが、いずれも時間が経つと点検等が疎かになりがちである。  
 児相と連携し対応している  
 毎月の勤務表は子どもの実態等に合わせることができる範囲の勤務となっている。児相との連携については、すべてにおいて対応できているとはいえない所もある。

(8) 心理的ケア

①	A20 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	A
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアを必要とする子どもについては、自立支援計画に基づき心理支援プログラムが策定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における職員間の連携が強化されるなど、心理的支援が施設全体の中で有効に組み込まれている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアが必要な子どもへの対応に関する職員研修やスーパービジョンが行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員が必要に応じて外部の心理の専門家からスーパービジョンを受ける体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理療法を行うことができる有資格者を配置し、心理療法を実施するスペースを確保している。	○
	<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携し、対象となる子どもの保護者等へ定期的な助言・援助を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

心理対象児など情報が職員全体で共有しきれていない面がある。  
 精神科の医師を講師とした研修会もある。心理職員が保護者のカウンセリングを行う場合もある。  
 心理療法が行われている

(9) 学習・進学支援、進路支援等

①	A21 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	A
	<input type="checkbox"/> 静かに落ち着いて勉強できるようにその時の本人の希望に沿えるような個別スペースや学習室を用意するなど、学習のための環境づくりの配慮をし、学習習慣が身につくよう援助している。	○
	<input type="checkbox"/> 学校教師と十分な連携をとり、常に子ども個々の学力を把握し、学力に応じた個別的な学習支援を行っている。一人ひとりの必要に応じて、学習ボランティアや家庭教師、地域の学習塾等を活用する機会を提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 学力が低い子どもについては、基礎学力の回復に努める支援をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 忘れ物や宿題の未提出について把握し、子どもに応じた支援をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 障害のある子どものために、通級による指導や特別支援学級、特別支援学校等への通学を支援している。	○

【判断した理由・特記事項等】  
 学校担任と連携を図ったり、必要に応じて塾や学習ボランティアの利用機会もある。  
 施設内での学習が不十分な子どもに対しては、必要に応じて塾や学習ボランティアを利用することで学習の定着を目指している。  
 学校教諭と連携し、子どもに合った学習内容に調整している。  
 子どもの希望に応じて学習ボランティア、学習塾を利用している。  
 学習ボランティア、塾の利用  
 学校と連携し個別に勉強についても配慮している。塾等の支援の場も設けている。

②	A22 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	A
	<input type="checkbox"/> 進路について自己決定ができるよう進路選択に必要な資料を収集し、子どもに判断材料を提供し、子どもと十分に話し合っている。	○
	<input type="checkbox"/> 進路選択に当たって、本人、親、学校、児童相談所の意見を十分聞き、自立支援計画に載せ、各機関と連携し支援をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 就学者自立生活支援事業、社会的養護自立支援事業、身元保証人確保対策事業、奨学金など、進路決定のための経済的な援助の仕組みについての情報提供をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 進路決定後のフォローアップや失敗した場合に対応する体制ができており、対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 学校を中退したり、不登校となった子どもへの支援のなかで、就労(支援)しながら施設入所を継続することをもって社会経験を積めるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 高校卒業後も進学を希望する子どものために、資金面、生活面、精神的面など、進学の実現に向けて支援、情報提供をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。	○

【判断した理由・特記事項等】  
 能力や家庭状況に応じて、可能な限り子どもの意向を重視し検討した上で、進路決定をしている。  
 個々のケースによって適切な自己決定ができるように支援している。  
 情報提供をたくさんしている  
 出来る限りの支援は行っている。

③	A23 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	A
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、社会の仕組みやルールなど、自分の行為に対する責任について話あっている。	○
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、金銭管理や生活スキル、メンタル面の支援など、子どもの自立支援に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 実習先や体験先の開拓を積極的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 職場実習の効果を高めるため、協力事業主等と連携している。	○
	<input type="checkbox"/> アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。	○

【判断した理由・特記事項等】  
 アルバイトなどの取り組みを支援している。  
 子どもの意向を確認しながらアルバイトと一緒に探し、必要に応じた事業主との連携もとれている。  
 実習先の開拓は学校が中心に行っている。  
 個々のケースによってアルバイトや就労の支援を行い、協力事業主とも連携を図っている。



(10) 施設と家族との信頼関係づくり

①	A24 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	B
	<input type="checkbox"/> 施設の相談窓口および支援方針について家族に説明し、家族と施設、児童相談所が子どもの成長をともに考えることを伝え、家族と信頼関係を構築できるよう図っている。	○
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員の役割を明確にし、施設全体で家族関係調整、相談に取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅などを取り入れ子どもと家族の継続的な関係づくりに積極的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 外出、一時帰宅後の子どもの様子を注意深く観察し、不適切なかがわりの発見に努め、さらに保護者等による「不当に妨げる行為」に対して適切な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもに関係する学校、地域、施設等の行事予定や情報を家族に随時知らせ、必要に応じて保護者等にも行事への参加や協力を得ている。	○

【判断した理由・特記事項等】

家族との関係調整は、担当中心の対応になっている。  
 施設内における家庭支援専門相談員の役割が明確になっておらず、現状では機能していない。  
 家庭支援専門相談員の役割りが明確ではない。  
 家庭支援専門相談員の役割は明確になっていない。個々のケース担当者が中心となり家族支援を行っている。  
 家庭通信の発行

(11) 親子関係の再構築支援

①	A25 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	A
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員を中心に、ケースの見立て、現実的な取組を可能とする改善ポイントの絞り込みを行うなど、再構築のための支援方針が明確にされ施設全体で共有されている。	○
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅、あるいは家庭訪問、施設における親子生活訓練室の活用や家族療法事業の実施などを通して、家族との関係の継続、修復、養育力の向上などに取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 児童相談所等の関係機関と密接に協議し連携を図って家族支援の取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

介入可能な家庭に対しては、関係機関と連絡を取り、対応している。  
 家庭支援専門員が機能せず各ユニットでの対応となっている。  
 再構築のための支援はケース担当が中心となり、施設全体で共有している。  
 個々のケース担当者が中心となり家族支援を行っている。  
 支援者会議などの実施